

NIE 実践校の取り組みとして

中村萌乃さん（G3）奨励賞受賞 本校が学校奨励賞受賞

「第10回いっしょに読もう！新聞コンクール」（日本新聞協会主催）

中村さんは、吉賀町の民家 22 棟を焼いた火災の後始末を皆が協力して行った記事の感想を述べて、自分の美都町もそのような人のつながりを持ちたいとの内容でした。おめでとうございました。

「令和元年度益田市読書感想文コンクール」で

吉岡快清さん（E3）益田ロータリークラブ会長賞受賞 『地球の声に耳を澄ませて』（くもん出版）を読んだ感想で、2年連続応募して、初受賞となりました。

牛尾春香さん（G2）益田市教育長賞受賞 『好奇心を天賦に変える 空想教室』（サンクチュアリ出版）を読んだ感想でした。両名ともおめでとうございました。

さて、今年度本校に赴任してこられた先生方による本校生におすすめの本の紹介第3弾です。

長岡正和校長先生のおすすめ本です。

『博士の愛した数式』 小川洋子著（新潮文庫）（図書館にあり）

私の専門教科は、皆さんのほとんどが、苦手教科・嫌いな教科にあげる「数学」です。数学、公式、数式、数字、計算・・・皆さんにとってはできれば避けたい、関わりたくないものかもしれませんが、敢えてこの本を紹介したいと思います。

中学校の数学教師になる通称「ルート」が、事故の後遺症で記憶が80分しか蓄積されなくなった数学研究者の通称「博士」と小学5年生のときに出会う物語です。「博士」は、今会っている相手の事でさえ、明日にはすべて忘れてしまう状況でも、毎回、「ルート」とその母親に実生活での何気ない事柄から導かれる様々な数字、数式の不思議・美しさを語ってくれます。映画でも吉岡秀隆、寺尾聰、深津絵里 が演じていましたね。

当然、数学の内容としても奥深い楽しさもありますが、それ以上に3人の温かさに包まれたやりとりに心打たれること間違いなしです！！

先日、本校の図書館でもこの本を見つけました！ ぜひ借りて読んでみてください！！

事務室 主事の方のおすすめ本です。

『ボッコちゃん』 星新一著（新潮社）（図書館にあり）

中学校の図書室に星新一さんの本がたくさんあり、そこで初めてショートショートを読みました。この本には1958年発表の表題作をはじめ、自選50編のお話がまとめられています。短い文章の中で、独自の世界観が構築され、引き込まれる作品ばかりであることに感動した思いを覚えています。作品の誕生から時が経ち、科学技術が進歩した現在でも楽しまれ続けているのはすごいことだと思います。短い時間で楽しめると思いますので、本を読むのが苦手だなと感じている方もぜひ読んでみてください。

※紹介された本をすでに読んだ生徒・教職員・保護者の皆さんは、ぜひ紹介の先生・図書部にお話いただくと喜ばます。